

国際華語特別集会のための
メッセージアウトライン
2022年2月18日—20日

主題：
神のエコノミーにおける神の恵み

2022年国際華語特別集会のための標語

わたしたちの霊の中の恵みの霊としてのキリストを受けることは、生涯にわたる継続的な事柄です。三一の神が恵みの霊をあふれるばかりに供給するとき、日ごとにすばらしい神聖な伝達が起きているべきであり、わたしたちは継続的に恵みの霊を受けます。

神のエコノミーにおける神の恵みの中での新約の信者たちの生活（手順を経て究極的に完成された三一の神を恵みとして経験する生活全体）は、キリストの有機的なからだとしての召会において究極的に完成します。

恵みとは、わたしたちの重荷を負う方としてのキリストであり、わたしたちの苦難、制限、弱さを通して、わたしたちに増し加えられます。わたしたちは重荷を持てば持つほど、恵みとしてのキリストを経験する機会をますます多く持ちます。

神のエコノミーにおける神の恵みの究極的で終極的な産物は、神の詩としてのキリストのからだであり、それは新エルサレムとなり、新しい天と新しい地における神の義の究極的完成となります。神ご自身の豊富は、わたしたちの享受となり、あらゆる制限を超越し、公に展覽されて永遠に至ります。

メッセージ 1

新約において啓示されている神の恵みの極めて重要な意義

聖書：ヨハネ 1:14, 16-17. ヘブル 10:29.

I ペテロ 5:10. エペソ 1:5-6. 2:7-8. 啓 22:21

I. 神の恵みは、極めて重要な意義のある事柄です——ヨハネ 1:14, 16-17. エペソ 2:7. 啓 22:21 :

A. 恵みは、神の新約エコノミーにおいて最大の真理であり、最高の啓示です——ヨハネ 1:14, 16-17. ヘブル 10:29. I コリント 15:10. ピリピ 4:23. 啓 22:21。

B. わたしたちは、新約において啓示されている神の恵みが何であるかを理解しようとするなら、新約全体の明確な展望を必要とします。

II. 新約によれば、恵みとは実は、わたしたちの享受のために、神がわたしたちにとって何であるかです——ヨハネ 1:16-17. II コリント 12:9 :

A. 恵みとは、教理における神ではなく、わたしたちの経験における神です。なぜなら、恵みとは、わたしたちの享受のために、ご自身であるすべてを伴うキリストにある神であるからです。これは命、強さ、慰め、安息、光、義、聖、力、他の神聖な属性を含んでいます。

B. 恵みとは、おもに神がわたしたちのために行なう働きではありません。恵みとは、三一の神ご自身がわたしたちの存在の中へと分与され、わたしたちによって経験されて、わたしたちの享受となることです——II コリント 13:14。

C. 新約は神の恵みの歴史です。それは、肉体と成った三一の神が神聖な三一において、手順を経て究極的に完成され、信者たちの中で、また信者たちの間で行動し、生きることです——ヨハネ 1:14, 16-17. 啓 22:21。

III. 恵みとは、三一の神が、父、子、霊という三つの面で具体化されて現されることです——II コリント 13:14. 民 6:22-27. 詩 36:8-9 :

A. 恵みとは、三一の神が彼の肉体と成ることにおいて、源としての御父によって、要素としての御子によって、適用としてのその霊によって、信者たちの中へと分与されることです——II コリント 13:14 :

1. 恵みの源、恵みの要素、恵みの適用は、神聖な三一の三つのパーソンに属しており、わたしたちのすべてとなります——マタイ 28:19。

2. 神聖な分与において、恵みは、神の恵み、キリストの恵み、その霊に属する恵みと呼ばれます——I コリント 15:10. II コリント 1:12. 8:1, 9. 9:14. 12:9. 13:14. ヘブル 10:29。

B. 恵みは、神の具体化であり、彼は神・人と成って、神性と人性を持っており、人の生活を経過し、死んで、復活し、昇天の中へと入りました。今や彼は命を与える霊であり、わたしたちの中に住んでいます——I コリント 15:45 後半. 6:17。

C. 恵みは、わたしたちのために手順を経て究極的に完成された三一の神です。それは、わたしたちが彼を享受するためです——ヨハネ 1:14, 16-17. I ペテロ 5:10. II コリント 13:14. ヘブル 10:29. I コリント 15:10, 45 後半. 啓 22:21。

D. 三一の神は手順を経過しなければ、わたしたちにとって恵みとなることはできませんでした——ヨハネ 1:14. I コリント 15:45 後半：

1. 御父は御子の中で具体化されており、御子はその霊として実際化されており、その霊は恵みとしてわたしたちの中へと入って来て、わたしたちの享受となります——ヘブル 10:29。
2. 手順を経て究極的に完成された三一の神は、ご自身をわたしたちの中へと分与して、恵みとしてわたしたちの分け前となります。それは、わたしたちが彼の神聖な三一の中で、彼をすべてとして享受するためです——II コリント 13:14。

IV. わたしたちの神また父は「愛する者の中で、……わたしたちを恵まれ」ました——エペソ 1:6 後半：

A. 神がわたしたちを恵まれることが意味するのは、彼がわたしたちを恵みの地位に置いて、わたしたちを神の恵みと恩恵の対象とならせること、すなわち、わたしたちにとって神が何であるかのすべてを、わたしたちが享受することです——エペソ 1:6 後半：

1. わたしたちは恵みの地位におり、恵みの対象であるので、神はわたしたちを喜ばます。
2. 神の喜びはわたしたちにあり、わたしたちも彼の中で幸いであり、最終的に相互の享受があります。わたしたちは彼を享受し、彼もわたしたちを享受します。

B. この愛する者とは、神の愛する御子であり、神は彼を喜ばます——マタイ 3:17. 17:5：

1. この愛する者の中で、わたしたちは恵まれ、神の愛顧と喜びの対象とされました——エペソ 1:6 後半。
2. わたしたちはそのような対象として、神の恵みの中で、神の喜びである神の愛する者の中で、神を享受し、また神にわたしたちを享受していただきます。彼の愛する者の中で、わたしたちも彼の喜びとなります——マタイ 3:17. 17:5。

V. エペソ第 2 章 8 節でパウロは言います、「あなたがたが救われたのは、恵みにより、信仰を通してであって、これは、あなたがた自身から出たものではなく、神の賜物である」：

A. 恵みとは、わたしたちの中へと分与される神です。ですから、恵みによって救われることが意味するのは、手順を経た三一の神がわたしたちの中へと分与されることによって救われるということです。

B. エペソ人への手紙が啓示しているのは、救う恵みとは、神ご自身がキリストの

中でわたしたちの存在の中へと造り込まれることであるということです。このゆえに、恵みによって救われることが実際に意味するのは、三一の神がわたしたちの中へと分与されることによって救われるということです。

C. 手順を経た三一の神がわたしたちの中へと分与されるとき、彼はわたしたちの経験において、わたしたちにとって救う恵みとなります——Ⅱコリント 13:14。

Ⅵ. 神がわたしたちを子たる身分へとあらかじめ定めたのは、「彼の恵みの栄光の賛美」となるためです——エペソ 1:5-6 前半：

A. 栄光は表現された神です（出 40:34）。「彼の恵みの栄光」が示しているのは、神の恵み（わたしたちの享受としての彼ご自身）が彼を表現することです。

B. 神がわたしたちを子たる身分へとあらかじめ定めたことは、彼の恵みにある彼の表現の賛美のため、すなわち、彼の恵みの栄光の賛美のためです——エペソ 1:5-6 前半。

Ⅶ. 神は「キリスト・イエスの中で、わたしたちに対する慈愛の中の彼の恵みの卓越した豊富を、来たるべき時代において展覧」します——エペソ 2:7：

A. キリスト・イエスの中で、わたしたちに対する彼の慈愛の中で、神は彼の恵みによってわたしたちを救いました。そのような慈愛の中で、神の恵みはわたしたちに与えられます——エペソ 2:7. ローマ 2:4。

B. 神の恵みの豊富は、神ご自身の豊富がわたしたちの中へと分与されて、わたしたちの経験と享受となることです。神の恵みの豊富は、あらゆる制限を超越（卓越）しています。

C. 来たるべき時代に、すなわち、千年期と永遠において、神は彼の恵みの卓越した豊富を全宇宙に展覧します——エペソ 2:7。